

第2回東部地区小学校給食センター建設検討委員会 次第

日時：令和6年8月6日（火）

午後7時から

場所：東部人権啓発センター 大会議室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会議事項

(1) 米飯炊飯について

(2) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について

請負業者：株式会社宮本忠長建築設計事務所

(3) その他

4 その他

5 閉 会

MEMO

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

米飯炊飯について

1 現在の状況

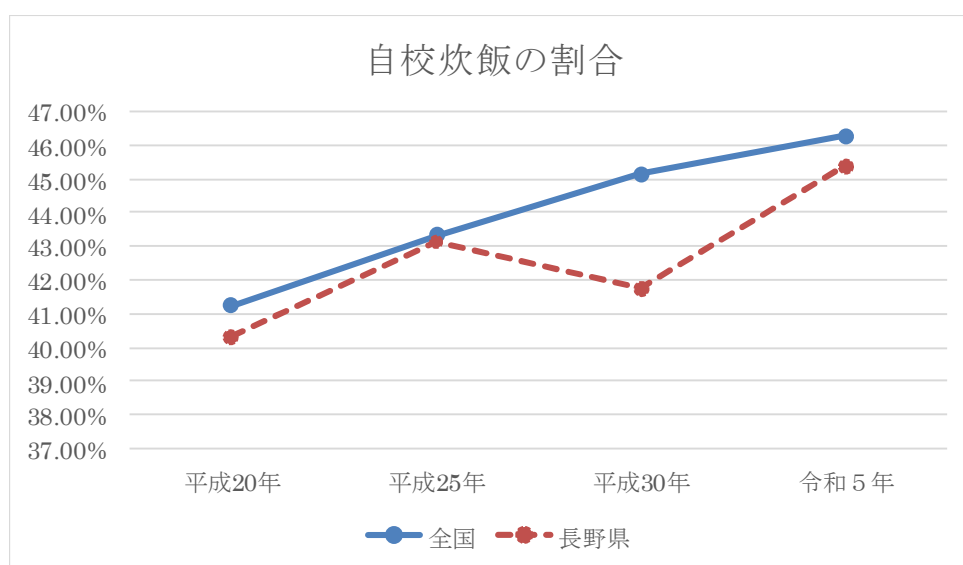
文部科学省及び農林水産省では、味覚を育む子どもたちに米を中心とした米飯給食を提供することを普及・推奨しているところです。

全国及び長野県における米飯給食実施状況については、下表に示すとおり炊飯を外部の民間業者へ委託する委託炊飯の割合が高いですが、近年では自校や学校給食センターで炊飯設備を整備して炊飯する形態（以下、「自場炊飯」という。）が徐々に増えている状況です。

現在、東御市においては、東部地区4小学校及び東部中学校では、炊飯設備を整備していないことから委託炊飯により米飯を提供し、北御牧の小中学校では北御牧学校給食センターにおいて炊飯設備を整備して米飯を提供しています。

【形態種別米飯給食実施状況】

区分	平成 20 年			平成 25 年		
	自校炊飯	委託炊飯	合計	自校炊飯	委託炊飯	合計
全国	12,290 校 (41.24%)	17,512 校 (58.76%)	29,802 校	12,528 校 (43.34%)	16,381 校 (56.66%)	28,909 校
長野県	248 校 (40.33%)	367 校 (59.67%)	615 校	254 校 (43.12%)	335 校 (56.88%)	589 校
区分	平成 30 年			令和 5 年		
	自校炊飯	委託炊飯	合計	自校炊飯	委託炊飯	合計
全国	12,709 校 (45.16%)	15,432 校 (54.84%)	28,141 校	12,652 校 (46.26%)	14,698 校 (53.74%)	27,350 校
長野県	238 校 (41.75%)	332 校 (58.25%)	570 校	251 校 (45.39%)	302 校 (54.61%)	553 校



2 自場炊飯と委託炊飯の比較

現在の市内小中学校で提供している主食の提供日、及び自場炊飯と委託炊飯のそれぞれのメリット・デメリットの比較については下表のとおりとなります。

【市内小中学校の主食提供日】

学校名	月	火	水	木	金
田中小学校	米飯	パン	米飯	※	米飯
滋野小学校 祢津小学校 和小学校	米飯	米飯	パン	米飯	※
東部中学校	米飯	米飯	米飯	米飯	パン
北御牧小中学校	米飯	パン	米飯	米飯	米飯

※は隔週で米飯またはパンとなります。

【自場炊飯と委託炊飯の比較】

区分	委託炊飯		自場炊飯	
経費	・委託炊飯料金が発生 ・炊飯関係スペース及び調理員が必要ない	—	・米飯炊飯設備の初期投資、炊飯関係スペース及び調理員の増員が必要 ・光熱水費及び維持管理費の運営費が発生	—
献立	・県内産米を使用 ・混ぜご飯等の内容に制限がある	—	・地元産米を積極的に使用できる ・混ぜご飯等内容が広がる	○
管理	・炊飯から配送までの衛生管理が不可 ・大量調理のため炊飯時間が早く冷めやすい	—	・炊飯から配送までの衛生管理が可能 ・喫食時間に合わせた炊飯が可能	○
リスク分散	・副食と別施設で炊飯するため有事の際に主食だけでも提供できるリスク分散が可能	○	・副食と同施設で炊飯するため有事の際に全ての給食が提供できないリスクがある	—
供給	・災害時に供給できるか不明 ・委託業者が廃業した場合に、代替業者の手配に課題	—	・常時一定量の米を備蓄できるため電気、ガス、水道等のインフラが活用できる場合、災害時に供給可能	○

経費に関しては、自場炊飯とした場合、委託炊飯に比べて年間経費を抑えることができるメリットと、設備の初期投資、人件費や光熱水費などの運営費が必要となるデメリットがあります。

自場炊飯と委託炊飯の経費比較は下表のとおりとなりますが、概ね経過年数 15 年で委託炊飯の必要経費を下回り、将来的に東部中学校へも自場炊飯を提供する場合には、さらに経過年数を抑えることも可能と考えられます。

【自場炊飯と委託炊飯の経費比較（単位：千円）】

経過 年数	委託炊飯		自場炊飯				累計差額 (B-A)
	単年	累計 (A)	設備整備費	運営費	原材料費	累計 (B)	
1	14,018	14,018	41,800	6,288	4,844	52,932	38,914
2	14,018	28,036		6,288	4,844	64,064	36,028
3	14,018	42,054		6,563	4,844	75,471	33,417
4	14,018	56,072		6,288	4,844	86,603	30,531
5	14,018	70,090		6,288	4,844	97,735	27,645
6	14,018	84,108		6,563	4,844	109,142	25,034
7	14,018	98,126		6,288	4,844	120,274	22,148
8	14,018	112,144		6,288	4,844	131,406	19,262
9	14,018	126,162		6,563	4,844	142,813	16,651
10	14,018	140,180		6,288	4,844	153,945	13,765
11	14,018	154,198		6,288	4,844	165,077	10,879
12	14,018	168,216		6,563	4,844	176,484	8,268
13	14,018	182,234		6,288	4,844	187,616	5,382
14	14,018	196,252		6,288	4,844	198,748	2,496
15	14,018	210,270		6,563	4,844	210,155	-115

【試算条件】

- ・ 1日約 1,400 食（1食あたり 70g）を 160 日（週 4 日）提供した場合
- ・ 委託炊飯（米飯委託料、配送料）
- ・ 自場炊飯運営費（人件費、保守管理費、修繕費、光熱水費）
- ・ 経費単価は全て令和 5 年度を参考

3 自場炊飯の検討

自場炊飯の状況については、文部科学省の学校給食実施状況調査では、全国及び長野県ともに年々自校炊飯率は上昇している傾向です。

自場炊飯と委託炊飯を比較した場合に、有事の際のリスク分散や設備の初期投資といった課題があるものの、地元産米の積極的な使用や喫食に合わせて炊飯できるなどのメリットがあり、東部地区小学校給食センターでは、手作りの給食や温かい給食提供を目指し自場炊飯により米飯の提供を行うことを検討します。

また、将来的には東部地区小学校給食センターから東部中学校への米飯の提供を検討します。

東部地区小学校給食センター建設基本設計について

1 基本設計の経過

基本設計の経過については、基本設計請負業者及び実際に調理を行う田中小学校栄養教諭・各校調理主任において打合せを行い、基本設計内容に反映しています。

今後、より詳細な調理機材及び作業工程等の検討を行い、設計業務を進めます。

期 日	区 分	内 容
R6.3.6	第1回栄養教諭・調理主任打合せ	プロポーザルにて提案のあった設計内容について説明し、今後設計内容の協議を行うことを確認
R6.3.22	視察	栄養教諭・調理主任において、佐久市学校給食臼田センターを視察
R6.5.30	第2回栄養教諭・調理主任打合せ	主な協議内容 ・荷受～下処理の各作業区域広さ、配置 ・冷蔵庫、調理機材等の仕様
R6.6.13	第3回栄養教諭・調理主任打合せ	主な協議内容 ・下処理～調理室の各作業の区域広さ、配置 ・調理機材の仕様及び数量 ・冷却方法（真空冷却機 or ブラストチラー）
R6.6.19	第1回内部打合せ	・冷却方法（真空冷却機 or ブラストチラー） ・食器、食缶等の仕様及び数量の要望 ・全体の各作業区域広さ、配置の要望 ・調理機材等の仕様及び数量の要望
R6.6.25	第4回栄養教諭・調理主任打合せ	主な協議内容 ・冷却方法（真空冷却機 or ブラストチラー） ・事務室、倉庫等の広さ、配置
R6.6.28	第2回内部打合せ	・作業動線及び作業工程の検討
R6.7.1	視察	栄養教諭・調理主任において、安曇野市中部学校給食センターを視察
R6.7.9	第3・4回内部打合せ	・冷却方法をブラストチラーに決定 ・全体の各作業区域広さ、配置の要望 ・調理機材等の仕様及び数量の要望
R6.7.16		
R6.7.19	第5回栄養教諭・調理主任打合せ	主な協議内容 ・全体の各作業区域広さ、配置 ・調理機材等の仕様及び数量 ・作業動線及び作業工程

R6.7.25	第 5 回内部打合せ	・食器、食缶等の仕様及び数量の検討 ・作業動線及び作業工程の検討
---------	------------	---

※栄養教諭・調理主任打合せ出席者 設計事務所、田中小学校栄養教諭、各校調理主任

※内部打合せ出席者 田中小学校栄養教諭、各校調理主任

2 配送計画の検討

基本設計に係る作業工程を作成するうえで、配送計画を検討しています。

(1) 基本的な考え方

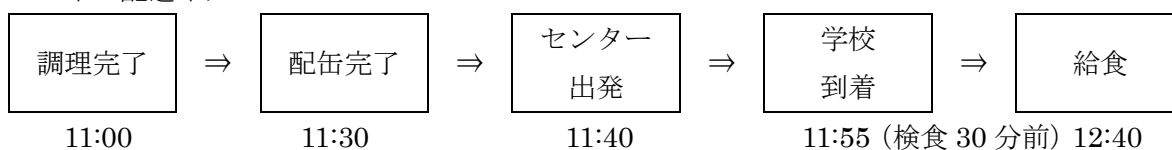
各校へ搬入するコンテナ数や配送車の仕様、給食開始時間や配膳時間等を踏まえ、学校給食衛生管理基準に規定される**調理後2時間以内に喫食**できる効率的な配送計画を検討します。

(2) 配送時間

ア 田中小学校北側から各学校までの配送時間

田中小学校	—	2 分
滋野小学校	国道（行き）	11 分
	国道（帰り）	10 分
祢津小学校	新屋経由	8 分
	文化会館経由	13 分
和小学校	海善寺経由	9 分
	井高経由	10 分

イ 配送イメージ



ウ コンテナ及び配送車

各校に必要な食器及び食缶のコンテナ数は、配送車 1 台に最大 5 台として計画します。

また、配送車に関しては、**普通免許（中型車（8 t）に限る）で運転ができる**積載量 3 t 未満の車両を選定し、3～4 台の導入を検討します。



コンテナ例

東部地区小学校給食センター建設検討委員会委員名簿

令和6年7月8日

	役職等	氏名	備考
1	田中小学校PTA代表	小林 佑次	
2	滋野小学校PTA代表	佐藤 公美	
3	祢津小学校PTA代表	白石 隆宏	
4	和小学校PTA代表	森澤 隼門	
5	保育園保護者会連合会代表	岡部 春希	
6	田中小学校長	龍野 正和	
7	滋野小学校長	鹿取 ちか	
8	祢津小学校長	田中 章子	
9	和小学校長	宮下 聡	
10	栄養教諭代表	正村 千香	田中小学校栄養教諭
11	調理主任代表	荻原 理子	和小学校調理主任
12	東御市教育委員	五十嵐 英美	
13	信州うえだ農協東部地区営業部営農課長	西澤 正浩	
14	(公社) 全国学校栄養士協議会副会長	柳沢 幸子	識見を有する者
15	公募による者	竹村 洋子	
16	公募による者	白井 哲	
17	公募による者	佐橋 真意	
18	公募による者	依田 昌弘	

【事務局】

	役職等	氏名	備考
1	教育次長	深井 芳信	
2	教育課長	土屋 岳史	
3	学校施設係長	小宮山真二	
4	学校施設係主査	小林 靖宗	
5	学校施設係主事（管理栄養士）	6 内村 友香	